

三豊総合病院だより

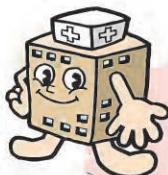
Mitoyo General Hospital



発行●三豊総合病院

発行人●白川 和豊

2010
43



—救急医療を考える—

三豊総合病院 地域医療連携協議会を開催して

5月19日、三豊総合病院に於いて、第4回三豊総合病院地域医療連携協議会を開催いたしました。三豊・観音寺市、四国中央市より、46医療機関（189名）の医師、スタッフの皆さんにご参加いただき、「救急医療における病診・病病連携」をテーマに意見交換し有意義な会となりました。

まずははじめに、「ある当直医の一日ルポ」と題するビデオを上映いたしました。このビデオは、救急現場で働く医療スタッフの現状を理解していただくために作成したものです。上映後、白川院長挨拶の後、整形外科の長町部長より救急委員会委員長の立場から、最近の救急患者の現状についてお話をさせていただきました。救急患者の集中、コンビニ受診の増加、医師不足など、三豊・観音寺市、四国中央市の救急医療も危機的状況になりつつあります。そこで、医療機関の先生方がどのように救急に対応されているか、どのような意見を持たれているか、アンケートを取り、病診連携委員長の中津部長から結果報告をさせていただきました。アンケートは三豊・観音寺市、四国中央市にある151医療機関へ発送し、そのうちの77医療機関より貴重なご意見をいただくことができました（回収率51%）。

その一部を紹介いたします。



救急医療体制を存続させるために どのようにすればよいでしょうか。

1. 患者さまに救急受診のルールを理解してもらう
2. 救急患者の症状に応じて、
病院・医院の機能別で対応
3. 一次救急は三豊総合病院以外で受け入れる
4. 夜間当番医制の推進
5. 救急患者以外の受診は特別料金にする
6. 救急センターを作る
7. 急患センターの充実(四国中央市)
8. 科別の受け入れを明確にする

アンケート結果報告後、お忙しい中当院の当直応援にご協力いただいている小野好彦先生（小野医院）、藤田啓先生（藤田脳神経外科医院）、石川浩先生（石川医院）、そして三野正博先生（三野小児科医院）より、当直応援に参加しての思いを語っていただきました。その後、各部門に分かれて分科会を行い、それぞれの部門で熱い討論が繰り広げられました。

分科会テーマ

- ・外科系診療所：外科系の救急医療について
- ・内科系診療所他：内科系・小児科系疾患の救急医療について
- ・病院：救急医療における病病連携について
- ・看護師、技師、相談員：地域の救急医療の在り方
-看護師の立場から-
- ・事務：救急医療の現状を事務職がどうサポートしていくか

分科会報告

- 各病院での救急医療体制がわかってよかったです。
- 勉強にもなるし、緊急の受け入れ時の対応など、改善されることを期待する。
- 救急搬送時、簡潔明瞭に申し送りができるよう、搬送患者の状況を把握できるよう、心がけたい。（様式作成→配布済）

当院では、協議会開催時にいただいた意見やアンケート結果を参考に、今後の病診・病病連携に努めて参りたいと思います。

三豊観音寺市医師会症例検討会より
便秘の治療について

三豊総合病院 内科
八木 覚



①続発性便秘

・大腸癌による通過障害、糖尿病等の全身性疾患、薬の副作用等による便秘。原因となる疾患の治療を行う。便の性状（細く少量、血便）、経過（症状が進行性）、便検査異常などから大腸癌が疑われる場合は、特に積極的に大腸内視鏡検査を行う。

②特発性便秘

・続発性ではない便秘。生活習慣等を原因とする「単純性便秘」、腸の運動機能低下による「弛緩性便秘」、腸の過剰緊張による「痙攣性便秘」がある。

単純性便秘

・排便を我慢する習慣を続けていると、便意が起りにくくなる。また、食物繊維の摂取不足、極端に少ない食事量によっても便秘となる。第一に生活習慣の改善が必要。必要に応じて酸化マグネシウム（便を軟らかくする）、センナ・大黄（腸の運動を刺激する）等を使用する。

弛緩性便秘

加齢や多産による腹筋の弛緩、筋力の低下、自律神経失調による腸運動の低下等が原因となる。太くて硬い（水分量が少ない）便が特徴的。対処法として、まずは朝食後の腸の運動が亢進している時に排便する習慣をつける。必要に応じて酸化マグネシウム等を使用する。センナ・大黄等の刺激性下剤を長期服用すると、腸運動のますますの低下が起り悪循環となるため注意を要する。すでに多量の下剤を服用している場合、生活習慣の改善に努めながら下剤の量を減らしていく。

痙攣性便秘（過敏性腸症候群）

ストレスによる自律神経失調等で起こる。腸の痙攣、過収縮により便は細く少量、あるいは兎の糞状となり、残便感や便秘後の水様下痢、腹痛等を伴う。対処法として、まずはストレスを避ける。過度の香辛料、刺激物の摂取を避ける。必要に応じて下剤、腸管運動を調整する薬等を使用する。センナ・大黄等の刺激性下剤により、症状の悪化がみられることがあるので注意を要する。

- いずれの便秘においても、後述する生活、食事習慣の改善を行い、下剤の使用はなるべく短期間にとどめる。
- ・朝の空腹時に胃内に食物が入ることにより、強く排便反射が起こる。朝食後は便意が無くてもトイレに行く習慣をつける。
 - ・便意を我慢しない。
 - ・適度な運動による腸運動の是正、ストレスの軽減。
 - ・規則正しい食生活、特に朝食の摂取。
 - ・積極的に野菜等の食物繊維を含むものや、水分を摂取する。
 - ・浣腸、坐薬等は一時的な緊急処置として使用する。連用で依存状態になりやすい。



七夕会 7月6日
緩和ケア病棟



緩和ケア病棟において、七夕会を行いました。患者様やご家族の方々に、願い事を書いていただき、2本の笹は短冊の飾りでいっぱいになりました。皆でたなばたを合唱したり、すいかやそうめん、かき氷を食べ夏の雰囲気を味わいました。



三豊観音寺市医師会症例検討会より
『目の充血をきたす疾患の鑑別について』

三豊総合病院 眼科 藤井一弘



はじめに

Red Eye (充血など) による眼科疾患は現在その病態の殆どが解明され、もはや White Eye の時代と言われているが、臨床現場において Red Eye の占める割合が多い。

充血は単に赤目の有無だけではなく、その局在を明確にすることで病巣部位の推測が可能となるため診断において重要な所見である。

結膜充血と毛様充血

後結膜動脈は表層性に存在し眼瞼結膜から結膜円蓋部を経て角膜輪部に至るため、この部分に結膜炎や眼瞼炎が生じればその炎症は支配領域に波及し、動脈拡張の結果円蓋部で充血が強い結膜充血の形を呈する。一方、前結膜動脈は深層の前毛様体動脈から発し、結膜下のテノン嚢下層を走行した後は表在に達し角膜輪部（角膜周辺白目に相当する）に至るため、眼球内部に生じた緑内障発作やぶどう膜炎および角膜炎は、その炎症の波及により輪部で充血が強い毛様充血の形を呈する。

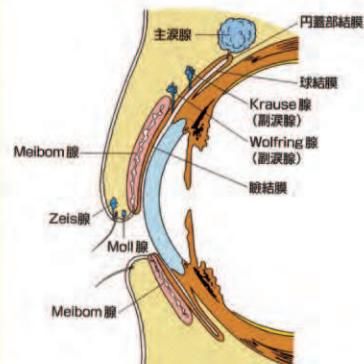
代表的な疾患

結膜炎には細菌性やウイルス性やアレルギー性などがあり、眼脂の性状（粘液性か漿液性か、あるいは色調はどうか？）や症状（痒いなど）や発症機転（伝染性や急性か）などを総合して推測するが、確定診断はやはり塗抹検査が必要である。抗菌剤は第一選択としてニューキノロン系点眼が使用されることが多い。

角膜炎は、原因として外傷、細菌、ウイルス、真菌、アメーバ感染などがある。細菌性として緑膿菌と肺炎球菌による感染は急速に角膜穿孔を来すため早期対応が望まれ、草木による外傷では真菌性角膜潰瘍に注意が必要である。またコンタクトレンズ使用者で近年アカントアメーバ感染が急増し、レンズ管理を徹底する啓蒙に力が入れられている。

ぶどう膜炎（眼内の炎症）では、3大原因であるBehcet病やサルコイドーシスや原田病に留意して全身検索を必要とし、眼科以外の他科との連携が必須となる。

急性緑内障発作では、視力低下以外に頭痛や嘔気といった内科的な症状も呈し、散瞳状態や対光反射消失などの瞳孔異常の所見を見逃さないようにする。



7月七夕 行事食
栄養管理科

七夕の話は中国から伝えられ、一般的になったのは江戸時代からだそうです。

当院では、七夕には毎年行事食をお出ししています。今年は、『そうめん・うなぎ・冬瓜くず煮・ゼリー』と涼しそうな献立とさせていただきました。



冬瓜のくず煮 (4人前)

冬瓜	100 g
かに缶	10 g
砂糖	3 g
薄口しょう油	5 g
片栗粉	1 g



- ① 皮をむき、種を取り、冬瓜は3cm角に切る。
- ② だし汁に砂糖・薄口しょう油を入れ煮る。
軟らかくなったらかに缶を入れる。
- ③ 水溶き片栗粉でとろみをつける。

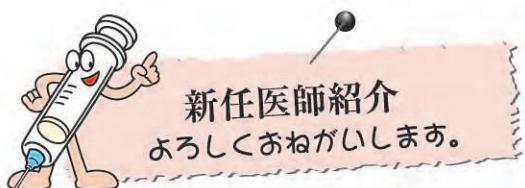
三豊総合病院 栄養サポートチーム『NST』の紹介

薬剤部
篠永 浩

NSTとは、Nutrition Support Team（栄養サポートチーム）の略で、医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、リハビリ技師などの専門職や事務職が1つになって、患者様に適切な栄養管理を行うチームのことです。現在三豊総合病院はNST稼動施設として認定されており、またNST専門療法士のための教育認定施設としても活動しております。

三豊総合病院のNSTは、医師3名、看護師6名、管理栄養士2名、薬剤師2名、臨床検査技師2名、言語聴覚士2名さらに1年の任期で各病棟2名ずつの看護師メンバーから構成されています。2002年6月より活動を開始し、これまで週1回木曜日の午後にミニ勉強会と栄養管理の必要な患者様の検討会を行い、引き続いて病棟ラウンドを行うことで直接患者様の声を聞き、肌に触れて栄養状態を把握することで栄養管理を行ってきました。具体的な活動内容としては栄養管理が必要かどうかの判定、適切な栄養管理がなされているかのチェック、最もふさわしい栄養管理法の指導・提言、栄養管理に伴う合併症の予防・治療などが挙げられます。今年度からはさらに活動内容を充実させ、病棟ラウンド、検討会の回数を週1回から週4回に増やすことにより入院早期から栄養管理が実施できるようスタッフ一同積極的に活動に取り組んでおります。

多くの専門職が、互いに専門的知識を持ち寄り、協力することでチーム医療を実現することが、治療期間の短縮や合併症の軽減、ひいては早期退院へと繋がり信頼される医療の一因を担うと考えております。また、職員を対象とした栄養勉強会（月に1度）や旧三豊、観音寺地区の全ての医療従事者を対象とした栄養サポート勉強会（2ヶ月に1度）も実施しており、地域の中で栄養の知識の共有化を図り、NSTの活動の輪を広げていきたいと考えております。



小児科 菊地広朗

7月より三豊総合病院小児科に勤務することになりました菊地広朗です。先月までは高知県立安芸病院に4年間勤務しておりました。阪神タイガースのキャンプ地安芸に何年もいながら一度もキャンプを見に行く機会がありませんでした。高知は今龍馬伝ブームで盛りあがっており、安芸も岩崎弥太郎生誕の地としてにぎわっていますので皆さん機会がありましたら是非遊びに行ってみてください。香川県は今回初めて住むことになり、どんな楽しいことがあるかなと楽しみにしています。週末にはうどんマップを見ながらうどんの味を堪能しに出かけています。観光スポットとしては琴弾公園と雲辺寺に行き、景色の素晴らしさに感激したところです。10月のちょうさ祭りは今から楽しみにしているところです。早く香川に馴染めるように頑張りたいと思います。皆さんどうぞよろしくお願いします。



外科 三好雄一郎

（得意分野）特になし（略歴）前田小学校、協和中学校、高松高校、岡山大学
まだ何もできない外科医です。そろそろ将来の専門を考えないといけないと思っています。
乳腺内分泌、呼吸器外科に興味をもっておりま
す。ご指導よろしくお願いします。趣味といつても特にありません。何も考えないのが趣味でしょうか。これから何か楽しいことを見つけようと思います。これから人生、楽しいことがたくさんあると信じております。最近、テレビを買いに行ったのですが、大きなテレビって全然見ごたえがありますね。人が大きく見えるだけでこんなに違うのですか。びっくりです。非常にびっくりです。今後ともよろしくお願いします。



産婦人科 吉田 望

産婦人科の吉田望です。平成16年に高知大学を卒業し、高知県立幡多けんみん病院で2年間の初期臨床研修後、高知大学産婦人科に入局。1年前まで2年間三豊総合病院で勤務していました。昨年産婦人科専門医を取得し、結婚を機に都筑先生の後任として、再び三豊総合病院で勤務することになりました。
産婦人科全般を診させていただいているが、特に、内分泌更年期が得意分野です。地域の皆様のお役に立てるよう精進していきます。